



保健だより

社会福祉法人

光輝の歩福祉会

子むすびの森保育園

H30.9.10

9月に入り朝、夕の風も涼しくなり、太陽もやさしく感じられるようになってきました。暑さを乗り切った子ども達が、そろそろ夏の疲れが出てくる頃です。全身のけだるさや食欲不振、便秘や下痢、発熱といった体調の乱れが出てきます。乳児は特に機嫌の良し悪しに注意し十分な休息、栄養に配慮し生活リズムを整えてあげましょう。

9月9日は
救急の日

こどもの事故防止のために

～日頃からこころがけたいこと～

9月9日は救急の日です。元気いっぱい活動する子ども達ですが、さまざまな事故にあう恐れがあります。家庭内でおこる事故を中心に、事例と対策を知り、予防に努めましょう。

誤飲・誤えん・窒息

子どもの死亡原因で各年齢の上位を占めているのは「不慮の事故」です。不慮の事故の中で「窒息」は0歳が89.9%、1～4歳では35.1%、5～9歳では17.6%

事例 タバコの誤飲

胸ポケットに開封済みのタバコを入れたまま居眠りをして、その間に子どもがそこからタバコをとって少量かじってしまった(0歳)。

事例 あめの誤えん

あめを食べたまま走り出して飲み込んでしまい、息ができなくなってしまった。
背中を叩いて、あめえ出した(4歳)。



事例 フードによる窒息

すべり台を滑ろうとしたら、後ろの子にパーカーのフードを引っ張られてしまい、首が締められそうになった。(5歳)



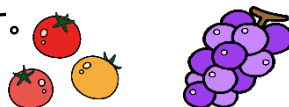
気をつけたいポイント

誤飲

- タバコ、ボタン電池、医薬品、洗剤などは子どもの手の届かない所に置きます
- 医薬品などは、子どもの見ているところで飲まないようにします。
- 乾燥剤なども間違えて食べることがあるので、処分します。

誤えん

- ミニトマトやぶどうなど丸くてつるつるした食品は、小さく切って食べさせるようにします。
- あめやグミを食べる時は、落ち着いた環境で、座って食べ



窒息

- フードやひもなどがついていない洋服にします。
*子どもの事故の発生を受けて、JIS規格の制定が行われています。
- シールやポリ袋などがのどに詰まったり、袋をかぶったりして窒息することがあるので、子どもの手の届かない所におきます。